



いのちと共生の研究プログラム第4回研究成果発表会に参加しました！

令和8年3月20日、麻布大学百周年記念ホールにて「いのちと共生の研究プログラム第4回研究成果発表会」が開催され、アカデミア麻布大学所属の3チームがスライド発表を行いました。「いのちと共生の研究プログラム第4回研究成果発表会」とは麻布大学が行っている、出る杭を引き出す教育プログラムの一環として、高校生と大学教員がともに研究へチャレンジするプログラムです。以下、発表メンバーと探究内容です。

【探究内容】

「新種のウイルス～起こりうる危機に備えよう～」

79期 小野 湧星さん

「猫と犬の運動量の違いが背中の骨(腰椎)に反映されているか？」

79期 小原 瑠海さん、関 まど花さん、松浦 葉月さん、吉田 杏さん、原田 美月さん

「動物のウイルスに対して一番効く消毒液は？」

79期 谷口 遙紀さん、田中 ロバートさん、野中 健志さん、林 侑吾さん

「新種のウイルス～起こりうる危機に備えよう～」

Q:他校の発表を聞いて

A: 他校の発表では生物の特徴をもとにした面白い発表がたくさんあったので自分の研究の参考にもなったし、生物の研究に対する興味も深まったと思った。

Q:会場の様子

A: 他校の人がたくさん来ていて他の高校の人の意見だったりを聞いたりすることができて貴重な機会だったと思った。

79期1組 小野 湧星



「猫と犬の運動量の違いが背中の骨(腰椎)に反映されているか？」

Q:研究のきっかけ

A: 犬や猫は私たちにとって身近な動物であり、このテーマならば自分から興味を持って研究できそうだと思うし、形態学という観点から研究を進めることに決めました。

79期7組 原田 美月

Q:後輩へ一言

A: 最初は大変に感じるかもしれませんが、仲間と協力すればとても良い経験になると思うので、楽しみながら頑張ってください。

79期6組 吉田 杏



「動物のウイルスに対して一番効く消毒液は？」

Q:研究のきっかけ

A: 自分の身近なもので自分の脅威となるものを対処したいと思ったのがきっかけです。今回は麻布大学でウイルスの研究をさせていただくことは決まっていたため、市販の消毒薬でウイルスをどれだけ対処できるかが気になり本研究を始めさせていただきました。

79期1組 田中 ロバート

Q:発表した感想

A: 知らない人が多いし高尚な場だったためすごく緊張はしたけど、学校でのポスターセッションで発表を何回もしていた事が生き、自信を持って発表・質疑応答をする事ができました。

79期1組 野中 健志

実際に使用したポスターはAB棟間2階渡り廊下(東)に掲示しています。ぜひご覧ください！